

# 11月の予算の全体像

## 平成23年度の予算総額は459億2,011万4千円

一般会計は、278億1,100万円で、前年度より38億2,300万円(15.9%)の大幅な増となっています。過去最大の予算額となりましたが、これは、市営住吉町住宅建替事業費、全天候型陸上競技場整備事業費、生活保護費の増が主な要因です。

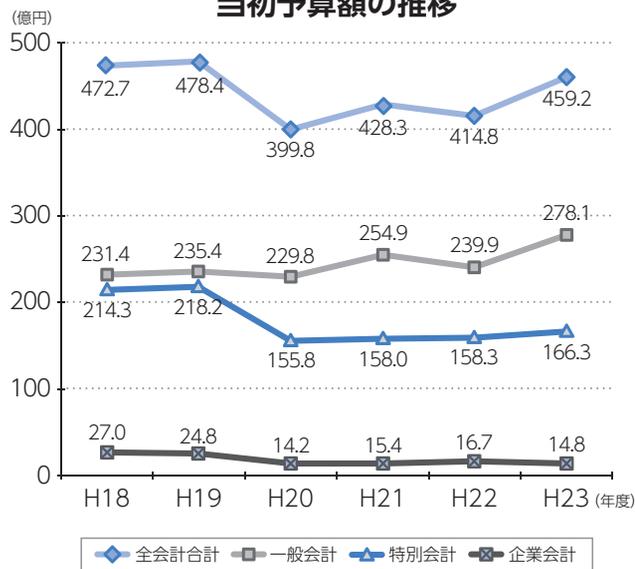
特別会計全体の予算は、166億2,784万6千円で、前年度より7億9,875万5千円(5.0%)増となっています。前年度と比較して増減が多かったのは、簡易水道事業特別会計の1億1,568万円(145.5%)増、下水道事業特別会計の2億8,473万6千円(13.1%)増、国民健康保険特別会計の1億9,668万9千円(2.7%)減、介護保険特別会計の6億3,659万2千円(11.5%)増などです。

企業会計の水道事業会計は、収益的支出と資本的支出を加えた支出総額では、14億8,126万8千円で、前年度より1億8,569万3千円(11.1%)減となっています。

### 平成23年度の各会計の予算額

一般会計	278億1,100万円
特別会計	
簡易水道事業	1億9,520万1千円
下水道事業	24億5,036万円
農業集落排水事業	1,406万6千円
浄化槽整備事業	1億6,426万円
浅内財産区	479万5千円
常盤財産区	272万7千円
鶴形財産区	229万4千円
檜山財産区	307万7千円
国民健康保険	70億4,422万円
後期高齢者医療	5億8,161万9千円
介護保険	61億6,522万7千円
企業会計	
水道事業	14億8,126万8千円
総計	459億2,011万4千円

### 当初予算額の推移



## 財政状況

能代市の基金(貯金)に、財源が不足する年度に備えるための財政調整基金と、将来の市債(借金)返済のための減債基金があります。平成22年度において、財政調整基金の一般分(使い道が特定されていない分)は約19億6,300万円、減債基金は約9億800万円となっており、合併後最大になっています。23年度においては、当初予算で財政調整基金を取崩したため、財政調整基金の一般分は約16億800万円、減債基金は約9億800万円となっています。

また、市の借金である市債は、平成21年度以降増加していますが、交付税算入のある有利な合併特例債や過疎債を活用しているため、市税などで賄わなければならない実質的な市債負担額は、18年度以降減少しています。

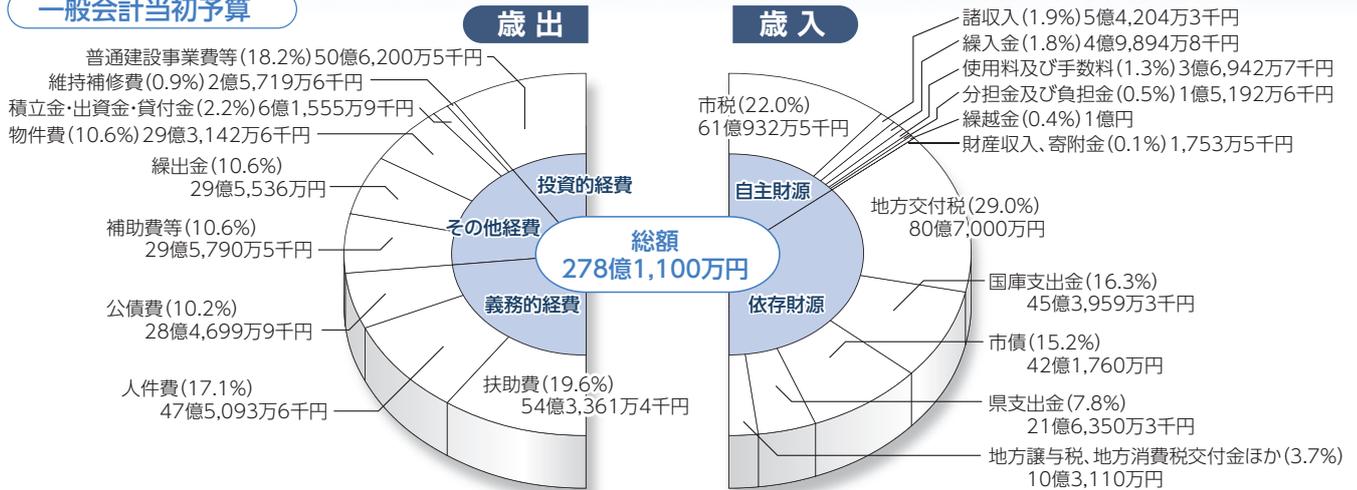
### 財政調整基金(一般分)と減債基金の推移



### 市債残高と実質市債負担額の推移



## 一般会計当初予算



### 歳出予算の特徴

扶助費は、生活保護費、障害者自立支援介護給付費等事業費、子ども手当などの増により、前年度より6億3,381万2千円増加しています。

普通建設事業は、市営住吉町住宅建替事業費、全天候型陸上競技場整備事業費などの増により、前年度より25億5,568万3千円増加しています。

物件費は、予防接種費や緊急雇用創出臨時対策基金事業などの増により、前年度より2億1,840万6千円増加しています。

繰出金は、介護保険特別会計繰出金や下水道事業特別会計繰出金などの増により、前年度より2億5,613万5千円増加しています。

### 歳入予算の特徴

市税は、個人市民税、法人市民税、市たばこ税が増となることから、市税全体では前年度より8,972万8千円増加しています。

繰入金は、財政調整基金繰入金、畑作振興基金繰入金の増などにより、前年度より3億9,859万9千円増加しています。

地方交付税は、国勢調査人口の減の影響が見込まれますが、国の地方財政計画において2.8%増となっているため、前年度より3億2,000万円増加しています。

国庫支出金と市債は、市営住吉町住宅建替事業費に充当する社会資本整備総合交付金と市営住宅建替事業債が増となっているため、国庫支出金は前年度より15億3,268万2千円増加し、市債は12億7,890万円増加しています。

## 市民1人あたりの予算の使い道は

使い道	予算額	市民1人あたり	使い道の内容
議会費	3億1,596万円	5,249円	市議会の運営に
総務費	19億1,406万1千円	31,801円	まちの行事や防災、市役所や出張所の管理などに
民生費	94億6,998万円	157,337円	高齢者や障がい者、小さな子どもたちなどに
衛生費	18億3,690万円	30,519円	ごみの収集運搬、健康診査や予防接種などに
農林水産業費	7億4,544万円	12,385円	農業や林業の振興などに
商工費	9億5,030万8千円	15,789円	中小企業の振興や工業振興などに
土木費	49億9,374万8千円	82,968円	道路や下水道の整備などに
消防費	12億2,284万3千円	20,317円	消防活動や救急業務などに
教育費	34億3,266万1千円	57,031円	学校や幼稚園などの教育関係に
公債費	28億4,699万9千円	47,301円	市の借入金返済に
その他	8,210万円	1,364円	災害など緊急時の予備などに
合計	278億1,100万円	462,061円	

※市民1人あたりの額は、予算額を平成23年2月末日の人口(60,189人)で割り返したものです。

### 市民1人あたりの予算の使い道

